

法人名	社会福祉法人 きたはりま福祉会
事業所名	小規模多機能型居宅介護施設 ほたるの里

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年12月10日(16:00～17:00)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	黒田 宅美 竹中 秋田 田中 横野 大西

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	4人	0人	11人

前回の改善計画	「関係作りのための配慮」に目を向け、よりご家族とも関係性を築くことが出来るように、日々の会話や連絡、お話をする機会や時間を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	関係性が築けるように連絡帳での様子報告や、送迎時等でお話をする機会を作ることができた。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	7	0	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	6	2	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	4	3	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	5	5	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションを図り、本人様やご家族からの情報収集もしっかりと行っている。</li> <li>・事前情報などで、ニーズ等を理解するようにしている。ミーティング等で共有出来ている為、ニーズに沿った支援が出来ていると思う。</li> <li>・利用者様の声掛け配慮は慣れてもらうために行えていると思う。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・①ミーティングを通して詳しくと言うと出来ていない。文面での発信となっている。</li> <li>・コロナ禍の中、時間をかけてお話をさせて頂く事が出来ていない。</li> <li>・利用者様とゆっくり会話をする時間が持てないので、声掛けしても短時間の会話に終わってしまい関係作り関わりが少ない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
引き続き関係性が築けるよう、連絡帳での報告やお話をする機会を持つ。ミーティングを通しての情報の発信や共有も継続して行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月13日(16:00～17:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 黒田 竹中 上木 石戸 田中 牲川 平井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	5人	0人	11人

前回の改善計画	目標を再確認し、不明確であれば明確化する。職員で共有し毎月の評価を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	モニタリングや全体会議を通し、毎月の評価等はできているが、目標については職員間で共有出来ていない利用者様もおられた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	5	6	0	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	5	6	0	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	5	6	0	11
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	7	4	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>毎月のモニタリングを通して、目標の「～したい」の共有はできている。関わりを通して振り返り、次の課題があれば取り組んでいる。</li><li>利用者様が1日楽しく生活できるように行事を考えたり、レクを行ったり、会話するよう心掛けている。</li><li>過剰介護にならないよう、出来るところは時間が掛かってもしてもらうように気をつけている。</li><li>モニタリングで毎月再確認しているから「変化」や現状を理解している。</li><li>施設を利用される中で知り得た情報等から見出した「目標」に向けては関わりや対応に活かしていると思う。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>担当者中心になってしまい、全員分を把握できているか共有しているかという点、そうでないかも知れないが、個々のケースや申し送りにて発信はされている。</li><li>フェイスシートでの情報としてはわかっていると思うが、本当の気持ちまでは理解出来ていない。</li><li>家人希望に沿うことにおもきを置いてしまっていたように思う。</li><li>本人が思っていることは聞き出せない方もいるので、その目標が本当にそうなのかは不明確なところがある。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
再度、利用者様の目標を確認した上で支援を行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月15日(16:00～17:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 黒田 宅美 竹中 秋田 石戸 田中 浦野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	7人	0人	11人

前回の改善計画	「以前の暮らし方」を10個以上把握できるような取り組みを行う。様子の変化については、引き続きミーティングや職員連絡ノートにて共有を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	「以前の暮らし方」を把握できていない。様子の変化については、ミーティングや申し送り等でしっかりと共有ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	1	9	1	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	8	1	0	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	7	3	0	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	5	1	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	4	3	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>②～⑤個別支援ができている。ケース申し送りにて気付きの発信ができている。その時の状況に合わせた対応も行っている。</li><li>本人の気持ちや体調の変化に気付いた時は、職員同士情報共有し対応している。また、即時の対応もよく出来ている。</li><li>利用者様に日々関わり、体調の変化等を記録やミーティングで伝えています。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>自宅での生活環境の理解や、以前の暮らし方等については、情報源が少ないため、ほとんどできていないように思う。</li><li>落ち着きなく歩かれる方やずっと声を出される利用者様の気持ちに寄り添うようにしているが、なかなか利用者様の不安な気持ちに寄り添えていないように思う。</li><li>本人の自宅での暮らし方などの理解が出来ていない。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
担当者を通してご自宅での生活環境を理解する。基礎的な介護の再確認、利用者様の気持ちを言語化し支援に繋げていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月17日(15:00～16:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 黒田 上木 石戸 平井 牲川 横野 大西

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	7人	2人	11人

前回の改善計画	本人様のこれまでの生活スタイルを知り、地域資源についての知識を深める取り組みを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍もあり、地域資源の活用が難しく、使える資源も限られていた為、知識を深める取り組みが出来なかった。本人様のこれまでの生活スタイルについても情報源が少なく理解出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	2	8	1	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	4	5	2	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	4	2	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	8	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・本人の(現在)生活スタイルは把握できている。</li><li>・利用者様が事業所にこられていない時の過ごし方はフェイスシート、送迎時などに把握している。</li><li>・本人の希望や様子等は、電話連絡や連絡ノートを通じて伝えるようにしている。</li><li>・ご家族の協力がどの程度得られるか等は情報を得るようにし、必要なことのやりとりはできている。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域資源、民生委員の把握については一部しかできていない。また自ら知ろうとしていない。</li><li>・コロナ禍により地域の方との関係が出来ていないと思う。</li><li>・利用以前の「生活スタイル」や「人間関係」の理解が難しい。家族様からの情報は少しは理解できるが「人間関係」は難しい。</li><li>・家以外の関わりはあまり理解できていない。</li><li>・施設を利用していない時間の過ごし方は把握できていない。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域資源について引き続き知識を深めていく。ご家族との関係が切れないよう支援を行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月22日(16:00～17:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 黒田 宅美 竹中 秋田 田中 横野 浦野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	7人	3人	0人	11人

前回の改善計画	必要時、緊急時については、ニーズに応じたサービスの提供が行えている。「変化」に応じた情報の共有、柔軟な支援も引き続き行う。地域資源を把握し、活用できるような取り組みを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	中立的にニーズに応じたサービスの提供は行えている。「変化」に応じた情報の共有、柔軟な支援も職員間でしっかりと行えた。地域資源の活用については取り組むことが出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	4	5	2	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	6	2	1	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	7	0	0	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	7	1	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・②～④ニーズに応じて「変化」気づき共有、柔軟な支援は行えている。</li> <li>・利用者様の体調の変化や認知症の進行、できていた事ができなくなってきたなど職員間で共有し家人様にもお伝えしながら利用者様にあった関わりを持つ事でできている。</li> <li>・身体、気持ちの変化に目を向け気付いた事は、記録やミーティングで伝えている。</li> <li>・ミーティング時に「変化」を伝えたり、月に1度の全体会議でも各担当が報告している。</li> <li>・ミーティング等に置いて、利用者様の状態、課題の共有化が有り、なるべく他の職員と歩調を合わせるようにしている。気づきの点も、様々な角度から視察するようにしている。</li> <li>・体調の変化などから必要な支援を行えているのではないかと思います。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源は使えていない。</li> <li>・ニーズに応じてのサービスの提供ができていない。</li> <li>・コロナ禍等であまり地域の資源を使い支援できていない。</li> <li>・地域資源を使う事案などがわからない。</li> <li>・ニーズというのが、どうしても本人ではなく介護者の都合になってしまっているため。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
必要に応じた地域資源の活用を行う。ご自宅での生活を継続するために、中立的な立場での柔軟なサービスの提供を行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月24日(14:00～15:00)

6. 連携・協働

メンバー 宅美 竹中 上木 田中 平井 大西 浦野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	2人	6人	11人

前回の改善計画	引き続き「できる範囲、できる方法」で連携、協働を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍ではあるが、本年度は地域行事(ふれあい喫茶テイクアウト)の受け入れ、トライやるの受け入れが出来た。医療機関との連携、担当者会議、運営推進会議等、双方可能な範囲で行う事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	1	1	8	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	1	9	11
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	0	1	10	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	1	10	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>①更新時、変更時には行っている。また、必要時にも行っている。</li><li>必要時の医療機関への受診等。</li><li>地域の「ふれあい喫茶」が施設内で実施となり、再開できて良かった。</li><li>診療所や薬局とのやりとりは必要に応じてできている。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>②会議には参加できていない。研修には参加できた。</li><li>会議の参加、地域との関わり。</li><li>コロナ禍による現在、地域との関わりも少なく、交流できない状況にある。</li><li>コロナ禍もあり、あまり参加や外出する機会が少ない。</li><li>コロナ禍で地域との関わりは難しい。</li><li>外との交流ができない為。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
コロナ対応の変化と共に、地域との関わりや交流の場が持てるよう前向きに取り組む。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月26日(16:00～17:00)

7. 運営

メンバー 黒田 宅美 竹中 石戸 牲川 田中 横野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	1人	5人	4人	11人

前回の改善計画	地域に必要とされる拠点になるよう、地域に対してできる事を検討し、また協働できるような取り組みを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍の中で地域や家族との関わりをできる範囲で行う事はできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	2	2	3	4	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6	3	0	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	5	1	4	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	1	4	6	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・①～③小規模では、事業所のあり方について意見は言える。会議でもそう言った場合は設けられている。</li><li>・利用者、家族、介護者からの発信はしっかりと受け止めている。</li><li>・苦情があった場合、ミーティング等で話し合いしっかり受け止め改善している。</li><li>・意見や苦情は、ミーティング等で共有されている為、運営に反映されていると思う。</li><li>・なるべく利用者家族からの意見は事業所責任者等に自分の意見も入れてより良い為にと思い伝えるようにしている。</li><li>・より良い環境づくりに向けて話し合いが出来ている。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・協働した取り組みが行えていない。</li><li>・送迎時に家族様から言われた事に関しては、ミーティング等で報告するか、直ぐに解決するものもあれば、時間のかかる場合もあるので、直ぐに反映は難しいと思われる。</li><li>・自分が知らないだけかも知れないが、あまり地域と協働した取り組みは行えていない。</li><li>・事業所のあり方は全体会議で討論になる場合もあるが、意見や発言はできていない。</li><li>・地域の方の意見などを聞く場がない。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
協働とは何か、何を行うべきかを検討し再度取り組みを行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月28日(14:00～15:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 黒田 宅美 秋田 上木 平井 大西 浦野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	2人	1人	11人

前回の改善計画	外部研修参加は難しい点もあるので、可能な範囲と可能な方法で参加を行う。内部研修にて学んだ事や再確認したことは実践する姿勢で取り組む。引き続きリスクマネジメントにも取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	内部研修は定期的に行えた。外部研修も職員によっては参加をしている。リスクマネジメントはヒヤリハット報告書を活用し取り組めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	6	4	1	0	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	1	5	11
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	3	8	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	2	4	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・①職場内研修には参加できている。②個人的に参加している。</li><li>・研修については、委員会やPT等、担当者中心に開催しているので参加できている。リスクマネジメントについては、日々の業務の中で取り組んでいる。</li><li>・スキルアップの為の研修は参加していないが、オンラインの講義などは受けている。</li><li>・職場内研修は参加している。「確認」「再確認」「新しく」となった時は、実践するよう心掛けている。</li><li>・職場内研修、全体会議の参加、ヒヤリハットなど再発防止に気をつけている。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・③連絡会には参加していない。</li><li>・地域連絡会に参加する機会はない。</li><li>・今は1日の業務で精一杯でスキルアップなど考えられない。</li><li>・リスクマネジメントは常に必要と思っているが出来ていない。</li><li>・資格習得やスキルアップのための研修に参加できていない。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
定期的に研修に参加し実践する。資格取得やスキルアップの為個人研修にも取り組む。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月30日(13:00～14:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 黒田 宅美 竹中 石戸 田中 平井 横野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	7人	0人	0人	11人

前回の改善計画	引き続き「身体拘束」「虐待」「プライバシー保護」「個人情報管理」について定期的な研修を通して理解と知識を深め取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	引き続き定期的な研修を通して知識と理解を深める。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	5	5	1	0	11
②	虐待は行われていない	8	3	0	0	11
③	プライバシーが守られている	5	6	0	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	2	1	5	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	4	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・プライバシーは守っている。個人情報の管理もしっかりできている。</li><li>・「人権やプライバシー」を常に頭で考えながら関わろうと思っている。必ずしも守れているとは言えないが。</li><li>・「待って下さい」という言葉を使う事が多くなっているので、理由をどれくらいと理解出来る言葉を加えている。</li><li>・利用者様の尊厳を守る関わりはできていると思う。</li><li>・①②③⑤の項目は完璧ではないが、常に介護職員である以上、守りたいし守らなければいけないと思っ仕事をしている。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・成年後見制度を活用していない。</li><li>・複数の利用者様との会話で、プライバシーに関わる内容ではないかと不安に感じることもある。</li><li>・待ってほしいと自分の都合になる言葉を言ってしまう。違った方法での関わりを考えられていない。</li><li>・思わず出た言葉遣いや排泄に関わる声の大きさに配慮できていないと思う事がある。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者様に対する言葉遣いや接遇等、適切であるかどうかを職員間で定期的に確認を行う。	

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 きたはりま福祉会	代表者	大西 康德	法人・ 事業所 の特徴	自然豊かで静かな環境に恵まれた山間部に立地している。 利用者様の生活リズムを大切に、通い、泊まり、訪問を柔軟に組み合わせ一人ひとりに合わせた利用時間の調整や食事提供を行っている。 地域との関わりも多く、定期的な行事に参加しながら、地域との繋がりを継続できる支援に努めている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護施設 ほたるの里	管理者	黒田 尚人		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・ 地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	3人	1人	2人	2人	2人	2人	人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	各項目の改善計画を全職員で意識しながら事業所評価に取り組み質の向上に努めている。	各項目の改善計画を意識出来ていない部分があり、再度全職員が意識出来るよう取り組みを行い質の向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所評価に対して施設の方が意識され取り組まれていたと思う。</li> <li>目標を意識した支援をされていると思う。</li> </ul>	達成できなかった項目への取り組みを引き続き行っていく。事業所職員全体の意識向上にむけた周知を継続していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	コロナ禍ではあるが、地域の方々や利用者様にとって利用しやすい環境づくりに向けて取り組んでいく。	利用者様にとって施設内外、清潔かつ明るい雰囲気環境作りに取り組めた。引き続き言葉遣いや接遇にも注意し、良い環境作りに取り組めた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設前を通ってもいつもきれいにされている印象を受けている。訪問した時は、いつも気持ちの良い挨拶や対応をして下さります。</li> <li>施設に立ち入りにくい雰囲気は感じない。</li> </ul>	地域の方々に対して施設をもっと身近に感じてもらえるように、継続してほたるの里の情報を発信する方法を考える。
C. 事業所と地域のかかわり	継続してホームページや新聞がよりよい発信源になるよう新しい施設内行事の企画や利用者様にとってよりよい環境作りを行っていく。	ブログの配信や新聞の発行は継続的に行えた。もっと多くの地域の方々に知って頂けるような取り組みや発信を検討していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞は毎月拝見させて頂いています。今年もコロナ禍であまり関わりが持てなかったが、新聞で拝見した皆様の笑顔が印象的でした。</li> <li>活動内容がブログで良く発信出来ている。</li> </ul>	地域の中にある施設という事を職員全体で周知し、施設をより知って頂ける機会を増やしていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	コロナ禍にて制限や自粛等不自由があったが、その時に応じて適切な判断で支援できる取り組みを行っていく。	地域に出向く取り組みはあまり出来なかった。地域によっては民生委員との関わりや場合によっては地域包括支援センターとの関わりは持つことができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じた情報交換や意見交換はできていると思う。</li> <li>制限や自粛がある中で地域との繋がりをされていたと思う。</li> </ul>	地域との関わりを継続する事で不安を感じておられる方の情報を得る機会を作り、関わりが拡大出来るように検討していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の会議内容が決まってしまうのが現状であり、新たな取り組みに繋がる会議にできるような参加者や議題の工夫を行っていく。	コロナ禍もあり、今年度も運営推進会議は書面開催となった。今後は、感染対策を行いながら会議を開催し、地域に必要な議題について話し合い、信頼される施設になるよう取り組んでいく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>書面会議にて現状報告や活動内容は把握させてもらっている。</li> <li>地域の課題や問題点についても協議できる会議になればと思う。</li> </ul>	運営推進会議を通じ、地区の民生委員、地域の方々、地域包括支援センターと連携をとりながら地域との関わりをより深めていく。
F. 事業所の防災・災害対策	避難計画に基づき、施設における自然災害のリスクを把握していくとともに全職員で非常災害に対する意識向上に努める。	ハザードマップの再確認や自然災害を想定した避難訓練などを実施し全職員で非常災害に対する意識向上に努めることができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団との合同訓練はコロナ禍にて今年度も実施出来なかったが、定期的な連携や情報共有は引き続きお願いしたい。</li> <li>自然災害時の対応を少し踏み込んで考える機会があればと思う。</li> </ul>	定期的に避難訓練を実施しながら、万が一の時に備え職員全員が的確な対応が行えるよう、情報共有や役割分担を明確にしておく。